令和6年度
すくわくプログラム活動報告書
（実施対象：3～5歳児もりグループ）

陽だまりの丘保育園

テーマ

塩

設定理由	塩アートを行う中で、塩は何からできているかと興味を抱いているため。
活動のねらい	塩に対する興味関心を深める、不思議に思ったことを追求する。
対象クラス	幼児クラス２１名（内訳：3歳児/７名　４歳児/６名　５歳児/８名）
スケジュール	令和６年４月～令和７年３月

10の姿

豊かな表現と感性

言葉による伝え合い

協同性

塩ジュース作ろう！

水に溶けた！

塩をかけると冷たくなった

塩と氷の実験

溶けた氷水の中に塩の塊発見！

氷の形を変えて、溶ける時間を比較

- ままごと玩具のジュースを作ろうと提案が上がり、絵の具や紙をちぎるなど意見が出る中で、塩で作ることになった。絵の具やチョークと塩が混ざり合う変化を楽しむ中で、他の画材も試したい思いが膨らみ、ソルトペインティングなどの技法に広がった。
- 塩が絵の具に溶けたことから、塩の溶け方にも興味を持ち、水や氷に溶かすとどうなるだろうという新たな疑問が生まれた。

環境のために準備した素材や道具	塩、絵の具、チョーク、紙皿、画用紙

子どもたちの育ち	• 自らの気づきや発見をしたことを友だちや保育士に伝え、心を通わせている。 • 年上の友だちに道具の使い方を教えてもらいながら、自分なりに試してみたり、色や触り心地など五感で楽しんだりする。

10の姿

協同性　思考力の芽生え　数量・図形、文字等への関心・感覚　自然との関わり生命尊重

海水の実験

塩って何からできているんだろう？

考える力

水道水は何もできなかったけど、海水からは塩ができた！

出来た塩を顕微鏡で見てみると…？

道具の使い方を知る

このキラキラ結晶っていうんだ！

- “塩は何からできている？”という疑問を持ち、本で調べると“海水から塩ができる”ということを発見する。実際に海水を煮詰めると湯気が上がったり、水分が無くなったりすることに気づき、その現象に興味を持つ。
- 塩の塊ができたことで、その形や色が付いているのか興味を持ち、顕微鏡で見てみると形があることを発見し、結晶と繋がる。

環境のために準備した素材や道具	海水、水道水、顕微鏡、カセットコンロ、図鑑、虫眼鏡
子どもたちの育ち	• 塩の形を見るために、顕微鏡や虫眼鏡など様々な手段を用いる。 • 海水と水道水（蒸発した時の違い）を比較する。

10の姿

協同性

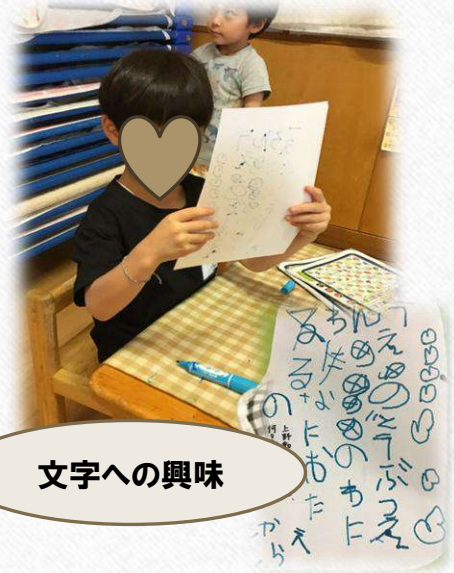
思考力の芽生え

数量・図形、文字等への関心・感覚

自然との関わり生命尊重

社会生活との関わり

動物園への質問



文字への興味

ぞうは、塩を舐める場所を作るんだよね！

遠足（上野動物園）

お楽しみ会
もりしおマークの百貨店

- 遠足先が動物園に決まり、その中で動物も塩を食べるのか疑問を持ち、動物園に質問の手紙を送る。
- 動物園からの回答を基に、動物と塩との関係や生態に興味を持つ。

環境のために準備した素材や道具	動物園、紙、ペン、ひらがな表
子どもたちの育ち	• 相手に伝わるような文章を考え、文字にする。 • 動物全般塩を摂取するが、その摂り方の違いを知る。（草食動物は草から、肉食動物は捉えた動物から等）

10の姿

健康な心と身体

社会生活との関わり

自然との関わり・生命尊重

思考力の芽生え

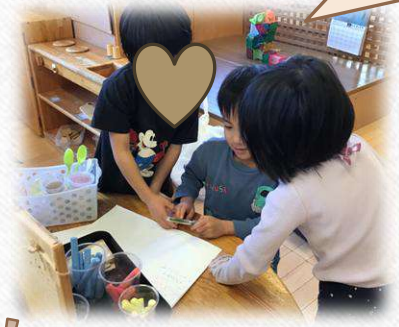
材料の量を調節しながら試行錯誤する

スーパーボール作り

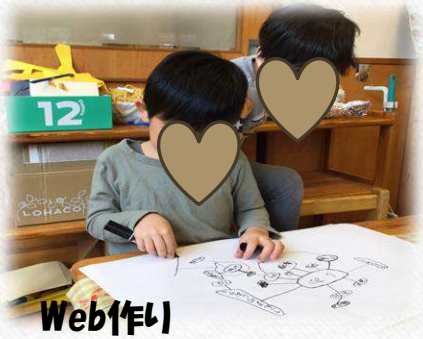
塩と水を倍にしたら成功！

記録する

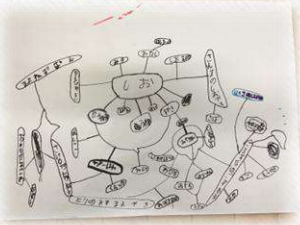
チーズを作る時に塩を使うんだよ！



考える力



Web作り



塩料理探し

- 給食や家庭で食べた料理の中に感じた塩の味やメニューを見て、塩が入っている料理探しが始まった。
- 探した料理をwebやノートに記録し、自分たちが食べている塩に関心を持つ。
- 様々な塩の性質を知ったことで、子どもからその性質を利用したスーパーボール作りをしたいと声が上がった。

環境のために準備した素材や道具	塩、水、洗濯糊、絵の具、ボウル、計量カップ、割り箸、図鑑

子どもたちの育ち	• 疑問に思ったことについて本や質問したり、実践してみたりと、様々な手段を用いて解決しようとする。 • 共通の目的に向かって、これまでの経験を含め、自分の考えを伝え合う姿が見られる。

全体の振り返り

・“塩”という身近なものだったこともあり、給食やおやつを食べて塩が入っているかを味覚で感じる姿や、家庭で塩の入っている料理はないかと調べたりする姿が見られた。また、塩への理解を深めることで、性質を利用して勢いよく弾むスーパーボールを作ろうと、塩や洗濯糊の量を調節し試行錯誤していた。試す→失敗する→考える→試す→成功する、という繰り返しの過程により、思い通りにならない面白さや五感を使う楽しさを味わうことができた。